らくらく導入ガイド

〈お願い〉

・本書は本商品の取り扱い方法を説明しています。本書を含めた取扱説明書をよくお読みの上、正しい設置・操作を行ってください。また、お読みになったあとも大切に保管してください。
・設定に使用するパソコンは、必ず「コンピュータの管理者」または「Administrator」権限のユーザ名でログオンしてください。
・本書に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

付属品一覧

本商品をご使用になる前に、次のものが同梱されていることをご確認ください。万が一、欠品・不良などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

□CG-WLCB300GNM　本体
□らくらく導入ガイド（本書）
□安全にお使いいただくためにお読みください
□製品保証書
□ユーティリティディスク（CD-ROM）
□Q&A
□電波干渉注意ラベル

各部の名称

■前面

①Power LED（緑）
　点灯：電源が供給されています。
　消灯：電源が供給されていません。
②Link/Act LED（緑）
　点灯：接続しています。
　点滅：通信中です。
　消灯：接続していません。

■背面

③製品ラベル
　本商品の商品名が記載されています。
④MACアドレスラベル
　本商品のMACアドレスが記載されています。
⑤シリアル番号ラベル
　本商品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、コレガサポートセンタへの問い合わせの際に必要になります。

背面にある　ラベルは、この無線機器が2.4GHz帯を使用し、変調方式としてDS-SSとOFDM変調方式を採用、想定される干渉距離は40mであることを表します。また、周波数変更の可否として、全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能です。

接続の前に

本商品を接続するには、次のものが必要です。

■対応するパソコン

・PC Card Standard（Card Bus）Type II 準拠のPCカードスロットを標準搭載している、PC/AT互換機（DOS/V）

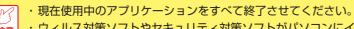
■対応するOS

・Windows Vista/XP/2000（プリインストール版）

本商品をパソコンに取り付ける前に、必ず付属のユーティリティディスクからソフトウェアをインストールしてください。

■接続する無線ネットワーク環境

・ルータまたはアクセスポイントのSSID
・ルータまたはアクセスポイントのMACアドレス
・設定されているセキュリティの種類（WEP、WPA、WPA2）
・ネットワーク（暗号）キー

ソフトウェアをパソコンにインストールします。インストールを開始する前に、次の注意を必ずお読みください。

注意
・現在使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。
・ウィルス対策ソフトやセキュリティ対策ソフトがパソコンにインストールされている場合は、CD-ROMが起動しない場合があります。一時的に対策ソフトを停止してからCD-ROMを起動してください。なお、対策ソフトの停止方法については、各ソフトウェアメーカにお問い合わせください。

1 ユーティリティディスクをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

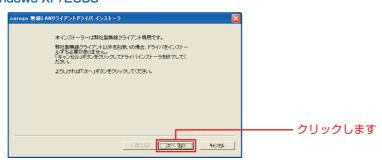
Windows XP/2000の場合は、手順 3 に進みます。

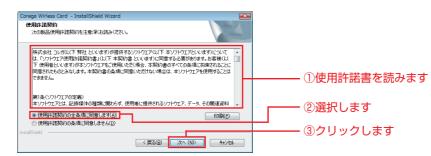
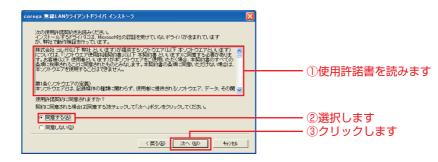
2 Windows Vistaでは次の画面が表示されますので、「setup.exeの実行」をクリックします。

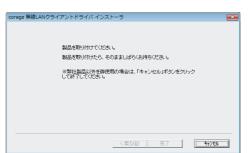
引き続き「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので、「許可」をクリックします。

3 次の画面が表示されます（しばらく待っても表示されない場合は、「マイコンピュータ」のCD-ROMアイコンをダブルクリックしてください）。[かんたんスタート］をクリックします。

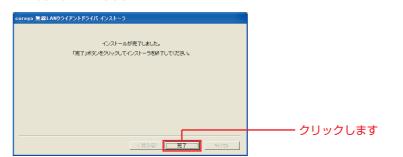
4 ［インストール開始］をクリックします。

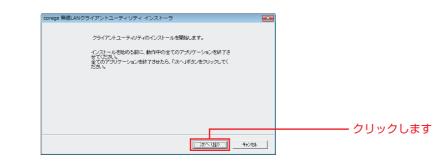
5 ［次へ］をクリックします。
Windows Vista

Windows XP/2000

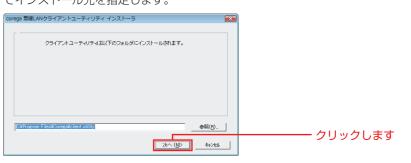
6 使用許諾書をご覧になり、「使用許諾契約の全条項に同意します」または「同意する」を選択して［次へ］をクリックします。
Windows Vista

Windows XP/2000

7 次の画面が表示されますので、お使いのパソコンに無線LANアダプタを取り付けます。

注意
無線LANアダプタの取り付け方法は、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

8 ドライバのインストールが始まります。次の画面が表示されるまでお待ちください。画面が表示されたら［完了］をクリックします。
Windows Vista

Windows XP/2000

以上でドライバのインストールは完了です。
引き続きクライアントユーティリティのインストールが始まります。

9 ［次へ］をクリックします。

10 使用許諾書をご覧になり、「同意する」を選択して［次へ］をクリックします。

11 ［次へ］をクリックします。
クライアントユーティリティのインストール先を変更する場合は、［参照］をクリックしてインストール先を指定します。

12 クライアントユーティリティのインストールが始まります。次の画面が表示されるまでお待ちください。表示されたら［OK］をクリックします。

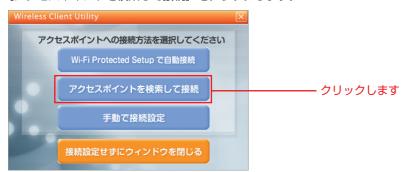
以上でクライアントユーティリティのインストールは完了です。

13 次の画面が表示されたらアクセスポイントへの接続を開始します。

引き続き「STEP2　無線機器に接続する」（裏面）の手順に従って、無線ルータや無線アクセスポイントに接続します。

STEP 2 無線機器に接続する

無線ルータや無線アクセスポイントに接続します。

1 ［アクセスポイントを検索して接続］をクリックします。

メモ ［Wi-Fi Protected Setup で自動接続］［手動で接続設定］の手順は、付属のユーティリティディスク収録の「無線クライアントユーティリティ詳細設定ガイド」（PDFマニュアル）に記載されています。表示方法は、本書の「詳細設定ガイドを見るには」をご覧ください。

2 お使いの環境で接続可能な無線アクセスポイントが表示されます（表示されない場合は［再検索］をクリックします）。「詳細な検索結果に切替える」にチェックを付けます。

メモ アクセスポイントの上にマウスポインタを乗せるとSSIDや暗号化などの情報が表示されます。この画面は、左側に表示されたアクセスポイントほど電波が強いことを示しています。

3 接続したい無線ネットワークのSSID（ESSID、ネットワーク名）を選択し、［接続］をクリックします。

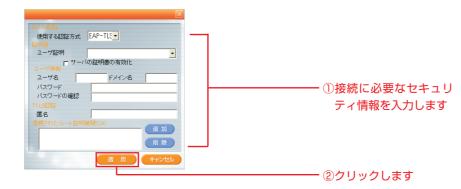
注意
・暗号化の欄にWEP、WPA、WPA2が表示されている場合は、無線セキュリティが設定された無線ネットワークを示します。
・アクセスポイントが一覧に表示されない場合は、［再検索］をクリックしてください。
・SSID（ESSID、ネットワーク名）は接続する機器の取扱説明書をご覧いただくか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

4 接続したいネットワークの環境によって表示される画面が異なります。

●**無線セキュリティが設定されていないネットワークの場合**
［接続］をクリックします。

●**WEP、WPA-PSK、WPA2-PSK が設定されているネットワークの場合**
ネットワークキーを入力して［接続］をクリックします。

注意 ネットワークキーは、接続する無線ルータまたは無線アクセスポイントと同じ値を入力します。入力する値がわからない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。

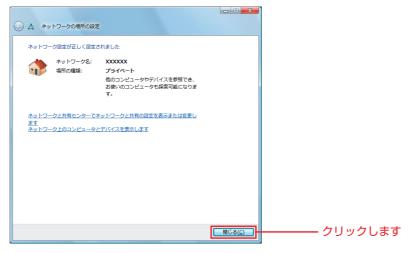
●**WPA-EAP または WPA2-EAP が設定されているネットワークの場合**
セキュリティの情報を入力して［適用］をクリックします。

注意 WPA-EAP、WPA2-EAP が設定されているネットワークへの接続手順は、付属のユーティリティディスク収録の「無線クライアントユーティリティ詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）に記載されています。表示方法は、本書の「詳細設定ガイドを見るには」をご覧ください。

5 「xxxx のアクセスポイントに接続しています」と表示されていることを確認します。

Windows XP/2000 の場合は手順 **9** に進みます。

6 Windows Vista の場合は、次の画面が表示されます。通常は、「家庭」を選択します。

7 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。［続行］をクリックします。

8 表示内容を確認して、［閉じる］をクリックします。

9 画面右上の☒をクリックし、クライアントユーティリティ画面とインストール画面を閉じます。

メモ もう一度クライアントユーティリティを表示させる場合は「クライアントユーティリティを表示する」をご覧ください。

インストールが完了したら「インターネットに接続する」をご覧になり、コレガホームページにアクセスして、インターネットに接続できるか確認します。

インターネットに接続する

1 Internet Explorer を起動し、アドレス欄に「http://corega.jp/」と入力して Enter キーを押します。

2 コレガホームページが表示されます（画面は 2008 年 3 月現在のものです）。

注意
・コレガホームページが表示されない場合は、無線セキュリティのネットワークキーが正しく入力されているか、または接続するアクセスポイントが正しく設定されているかご確認ください。
・パソコンを再起動することによって接続できることもありますので、お試しください。

クライアントユーティリティを表示する

インストール完了後、クライアントユーティリティを表示したいときは次の手順に従ってください。

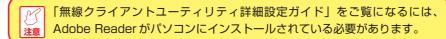
1 パソコンの画面右下のアイコンをクリックします。

2 クライアントユーティリティが表示されます。

メモ パソコンの画面右下にアイコンが表示されていない場合は、「スタート」－「すべてのプログラム」（Windows 2000 では「プログラム」）－「コレガ無線 LAN ユーティリティ」－「無線クライアントユーティリティ」の順にクリックしてください。

詳細設定ガイドを見るには

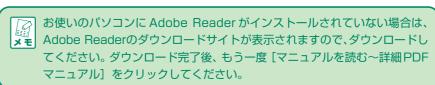
本書で記載している手順のほか、クライアントユーティリティの機能の詳しい説明をご用意しております。Ad-Hocのネットワーク設定やWPA-EAP、WPA2-EAPの設定などについては、次の手順で「無線クライアントユーティリティ詳細設定ガイド」をご覧になり、設定してください。

注意 「無線クライアントユーティリティ詳細設定ガイド」をご覧になるには、Adobe Reader がパソコンにインストールされている必要があります。

1 ユーティリティディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

2 次の画面が表示されます（しばらく待っても表示されない場合は、「マイコンピュータ」の CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください）。［オプション］をクリックします。

3 ［マニュアルを読む～詳細 PDF マニュアル］をクリックします。

4 「無線クライアントユーティリティ詳細設定ガイド」が表示されます。

メモ お使いのパソコンに Adobe Reader がインストールされていない場合は、Adobe Readerのダウンロードサイトが表示されますので、ダウンロードしてください。ダウンロード完了後、もう一度［マニュアルを読む～詳細 PDF マニュアル］をクリックしてください。

製品仕様

■仕様一覧

サポート規格	無線LAN	（国際規格）IEEE802.11n（ドラフト）IEEE802.11g/IEEE802.11b/IEEE802.11
		（国内規格）ARIB STD-T66
	PCインタフェース	PC Card Standard（Card Bus） TypeII準拠
取得承認		VCCI クラスB、技術基準適合証明
対応PC		DOS/V
対応OS		Windows Vista（32bit）/XP（32bit）/2000
無線LAN仕様	周波数帯域	[IEEE802.11n（ドラフト）g/b] 2.412GHz～2.472GHz（中心周波数表示）
	チャンネル数	[IEEE802.11n（ドラフト）g/b] 13ch （1～13ch）
	伝送速度	[IEEE802.11n（ドラフト）] 300～6.5Mbps（ロング/ショート ガードインターバル） [IEEE802.11g] 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps [IEEE802.11b] 11/5.5/2/1Mbps
	伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重変調方式）、DS-SS（直接拡散型スペクトラム拡散方式）
	通信モード	Infrastructure/Ad-Hoc
	アンテナ形式	プリントアンテナ×2
	セキュリティ	SSID（IEEE802.11 ：ID（文字列）による識別）、WEP（64/128bit）、 WPA-PSK（パーソナル）、WPA2-PSK（パーソナル）、 WPA-EAP（エンタープライズ:IEEE802.1X認証）、 WPA2-EAP（エンタープライズ:IEEE802.1X認証） TKIP/AES（WPA/WPA2の設定内に含む）、 IEEE802.1X-WEP（ダイナミックWEP）
電源仕様	供給方法	PCカードインタフェースから供給
	定格入力電圧	DC3.3V
	待機消費電流	340mA
	最大消費電流	720mA
環境条件	動作時	温度：0～55℃／湿度：5～90%（結露なきこと）
	保管時	温度：−20～65℃／湿度：5～95%（結露なきこと）
外形寸法		54（W）×123（D）×9（H）mm（突起部：54（W）×38（D）×9(H）mm）
質量		44g

■工場出荷時の設定

通信モード	Infrastructure
チャンネル	自動設定
暗号化	無効

■おことわり

・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

2008 年 3 月　初版